

(仮称) 西脇多可新ごみ処理施設建設工事  
優先交渉権者選定基準書

令和4年9月

西脇多可行政事務組合

## 目 次

1. 優先交渉権者選定基準書の位置付け .....	1
(1) 資格審査（参加資格の確認） .....	1
(2) 技術審査 .....	1
2. 技術審査の基本的な考え方 .....	1
3. 審査方法 .....	2
(1) 非価格要素の審査 .....	2
(2) 価格要素の審査 .....	2
4. 審査結果の点数評価方法 .....	2
(1) 非価格要素の評価 .....	2
(2) 価格要素の評価 .....	2
(3) 優先交渉権者の選定 .....	2

## 1. 優先交渉権者選定基準書の位置付け

(仮称)西脇多可新ごみ処理施設建設工事優先交渉権者選定基準書(以下「本基準」という。)は、西脇多可行政事務組合(以下「本組合」という。)が発注する、エネルギー回収施設、リサイクル施設及び管理棟等からなる(仮称)西脇多可新ごみ処理施設(以下「本施設」という。)の整備を行う(仮称)西脇多可新ごみ処理施設建設工事(以下「本工事」という。)を実施するに当たり、豊富な経験と高い技術を有する事業者を、公募型プロポーザル方式により選定するための基準を示すものである。

また、本基準は、募集公告と同時に公表する(仮称)西脇多可新ごみ処理施設建設工事プロポーザル説明書(以下「プロポーザル説明書」という。)と一体のものである。

本基準に基づく審査は、以下の手順により実施する。

### (1) 資格審査(参加資格の確認)

本プロポーザルに参加を希望する事業者から提出された参加資格審査申請書及び資格証明書類等により、参加資格要件を有する事業者(以下「参加資格事業者」という。)であることを確認する。

### (2) 技術審査

参加資格事業者に対して技術審査を実施する。なお、参加資格事業者が1事業者の場合も技術審査を行う。

技術審査では、プロポーザル説明書に規定されている技術提案関係図書又は修正技術提案関係図書に記載された内容が発注仕様書に規定された要求水準を満足しているか審査を行う。技術審査において、要求水準を満足できないと判断された場合、ヒアリング等の実施を経て改善を求める。

改善要求に対する回答においてもなお要求水準を満足できないと判断した場合は、失格とする。

参加資格事業者に対し、修正技術提案関係図書の提出を求めた場合は、技術提案関係図書に準じた審査を行い、必要に応じて再度ヒアリングを実施する。

## 2. 技術審査の基本的な考え方

技術審査に当たっては、参加資格事業者の提案内容がプロポーザル説明書及び発注仕様書に規定する要求水準を満足することを前提として、提案内容の妥当性及び確実性に関して総合的に評価を行う。

なお、本組合は、必ずしも本事業や本工事の実施に当たって確保している財源(予算)の上限を使用して、最大の提案を求めるものではなく、限りある財源で、参加資格事業者の創意と工夫により、より良いものを適正な価格で建設できる提案を求めるものである。

### 3. 審査方法

#### (1) 非価格要素の審査

技術提案関係図書又は修正技術提案関係図書のうち、最終の非価格要素の提案内容について、専門的な見地から審査し、非価格要素提案審査における評価項目及び配点（表参照）（以下「評価項目」という。）に基づいて非価格要素評価点を決定する。

#### (2) 価格要素の審査

技術提案関係図書又は修正技術提案関係図書のうち、最終の見積額について、価格要素評価点を決定する。

### 4. 審査結果の点数評価方法

#### (1) 非価格要素の評価

非価格要素提案書について評価項目に示す評価事項について評価を行い、その結果に基づいて点数化を行う。

各参加資格事業者の得点を、配点の合計値（100点）で除し、60点を乗じた値を、その参加資格事業者の非価格要素評価点とする。なお、計算された点数については、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位として評価を行う。

$$\text{非価格要素評価点} = \frac{\text{参加資格事業者の得点}}{100\text{点}} \times 60\text{点}$$

#### (2) 価格要素の評価

価格要素の評価については40点を満点とし、次に示す方法で算出する。なお、計算された点数については、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位として評価を行う。

$$\text{価格要素評価点} = \text{定量化限度額}^* \div \text{提案価格} \times 40\text{点}$$

※定量化限度額の事前公表は行わない。

#### (3) 優先交渉権者の選定

非価格要素評価点と価格要素評価点の合計点を総合評価点とし、総合評価点の最も高い提案を示した参加資格事業者を優先交渉権者に、次点の参加資格事業者を次点交渉権者として選定する。

$$\text{総合評価点} = \text{非価格要素評価点} + \text{価格要素評価点}$$

なお、総合評価点の最も高い点数の事業者が2事業者以上あるときは、非価格要素評価点の高い事業者を優先交渉権者とする。さらに、非価格要素評価点も同点の場合は、当該者にくじを引かせて優先交渉権者を選定する。

表 非価格要素提案書審査における評価項目及び配点

No.	評価項目	評価事項	審査の着眼点	配点	
1	安全・安心な施設	1.1 安定稼働	①ごみ量・ごみ質の変動への対応、排ガス量の低減等に寄与する処理システムに対する提案	35	5
			②施設・機器の余裕確保、トラブル・事故対策		
		1.2 安全・安心な施設計画	①作業動線の安全性及び利便性に対する考え方・計画		9
			②防災、地震、水害、災害廃棄物等へ配慮した計画		
			③作業員の労働安全性に配慮した提案・計画		
		1.3 運転管理基準(期待値)	○提案される運転管理基準値(期待値)		10
1.4 運転・維持管理	①補修計画、維持管理計画の妥当性	3			
	②引渡し時の運転指導及び調整等計画(業務・情報引継ぎ方法)				
1.5 企業評価	①過去の技術改善(改良)事例	4			
	②建設工事実績				
1.6 建設計画	①本事業工程(各種申請、工事工程等)の妥当性と信頼性	4			
	②配置人員計画				
2	循環型社会の形成に寄与する施設	2.1 エネルギー利用計画	①施設内の余熱利用計画及び提案事項/熱利用率	25	10
			②自然エネルギー等の活用計画・提案		
		2.2 温水利用に対する計画	○施設外への温水供給に対する計画の妥当性・安定性及び量		10
2.3 拠点施設	①地元住民に対する役割(提案)	5			
	②啓発施設に関する提案				
3	周辺環境に優しい施設	3.1 環境対策	○排ガス、騒音、振動、悪臭対策、粉じんの低減計画	10	5
		3.2 二酸化炭素低減対策	○CO <sub>2</sub> 排出量の低減計画		5
4	住民から信頼される施設	4.1 施設のイメージ	①地域特性を理解し配慮した提案及び計画/イメージパース図等	20	7
			②見学者への配慮計画/地元住民の見学への対応		
		4.2 地域社会貢献	○地元の企業・人材・資材の活用方法及び地域経済への貢献方法		5
		4.3 施設の運転状況の透明性・情報公開	○建設時の環境モニタリングの方法及び運転時のデータの公開方法と運転管理基準値超過時の対応		4
4.4 建設時の配慮事項・品質管理	○建設時の環境配慮、採用する工法及び品質管理の方法/地元への説明方法	4			
5	経済性・効率性に配慮した施設	5.1 用役費の低減	○燃料、電気、油脂類、薬品類等の用役費の低減計画	10	3
		5.2 補修費等の低減	○補修費等の低減計画		3
		5.3 運転管理人員の削減	○運転管理人員の削減計画		4